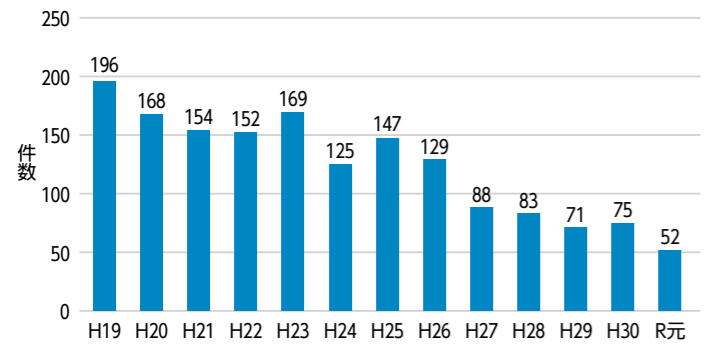


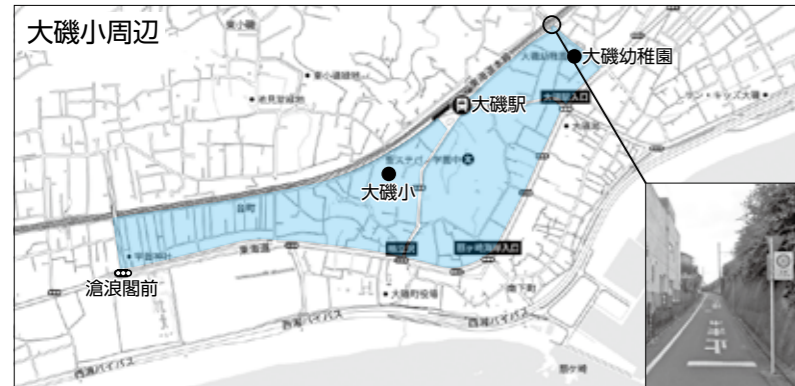
大磯町の交通事故発生件数の年別推移 (各年12月31日現在)



町内の交通事故発生件数は、近年減少傾向にあり、ここ数年で最高の交通事故発生件数を記録した平成19年の196件に比べ、令和元年は52件となり、およそ4分の1にまで減少しました。

近年の大磯町の交通事故発生件数の減少の裏には、交通安全環境の整備や、町民の皆さんの交通安全に対する意識の向上があると推測されます。

町内の交通事故統計



**ゾーン30とは？**  
住宅地域等をゾーンとして区域設定し、その区域の抜け道利用や自動車の走行速度を抑制することで、歩行者等の安全を確保するものです。

**対策例**  
・車道の中央線を消して1車線にする  
・路側帯の設置や拡幅により車道を狭くする

**なぜ30キロ規制？**  
自動車と歩行者が衝突した場合、自動車の速度が時速30キロを超えると、歩行者の致死率が急激に上昇するという統計があることから、自動車の速度を時速30キロ以下に抑制することとしています。

町内では、大磯、国府各小学校の通学路やその周辺に整備されています。

町内の交通安全対策 ゾーン30の整備

・時間に追われて車のスピードを出しすぎていませんか？  
・歩行者信号が点滅しているにもかかわらず、無理に横断歩道を渡ろうとしていませんか？  
・信号機のない横断歩道を歩行者が渡ろうとしているのに、そのまま横断歩道を通過していませんか？

あなたは全ての質問にノーと答えられましたか？  
これらのほとんどは、**時間と心に余裕がないため**に起こってしまう焦りによる行動です。こうした少しの焦りが、スピード違反や人身事故、おとり運転などに発展し、悲惨な交通事故を発生させてしまいます。

時間と心にゆとりを持っていますか？



車を運転するときも歩行中も、時間にゆとりを持ち、思いやりの心を持って行動しましょう。「安全は、心と時間のゆとりから」です。

こうした少しの心掛けが、交通事故根絶へつながります。

**☆焦りを防止するためのポイント**  
・出発時間をいつもより早めに設定しましょう。  
・焦っている、イライラしていると感じたときは、大きく深呼吸しましょう。  
・急いでも必ずしも時間短縮につながるとは限りません。「急がば回れ」を実行しましょう。

秋は交通事故が増える!?

夕暮れ時に  
要注意!

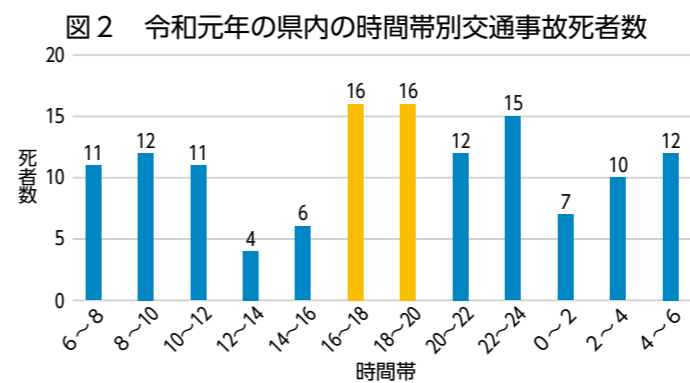
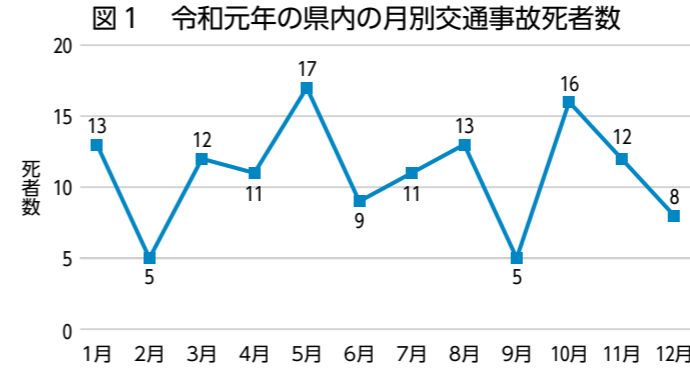


町民課 内線237

**秋の全国交通安全運動**  
9月21日(月・祝)～9月30日(水)

交通事故ゼロを目指す日 9月30日(水)

スローガン 安全は 心と時間の ゆとりから  
高齢者 模範を示そう 交通マナー



今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で5月まで臨時休校という異例の事態が長期化し、6月1日から学校が再開されました。

自動車や自転車も、本来の交通量を取り戻しつつあり、通学に慣れてきた児童・生徒の皆さんは、改めて交通事故に注意しましょう。

秋は、日没時間が早くなっていく季節です。令和元年の県内の交通事故死者数は、9月が最小であったにもかかわらず、10月は2番目に多くなり、10月は2番目に多くなっています(図1)。また、時間帯では日没時間の16時～20時が最も多い傾向にありました(図2)。

いずれも、日没時間の移り変わりに慣れていないことが原因であると考えられます。秋の全国交通安全運動期間中に、これから迎える季節の交通事故防止のポイントを理解し交通事故を未然に防ぎましょう。

☆これからの交通事故防止のポイント  
**左右確認！ 早めのライトと反射材**

**☆夕方から 早めの点灯**  
秋になると日没時間が早まるため、急に辺りが暗くなり、ヘッドライトの点灯が遅れてしまいがちです。日没時間の16時から18時は交通事故死者数が多い傾向にあります。ドライバーは、日没の1時間前にはヘッドライトを点灯し、車や自転車の存在をアピールしましょう。

**☆身に着けよう 明るい服！反射材！**  
夕暮れ時や夜間のほか、日の出前の早朝もドライバーから歩行者は見えにくくなります。また、日没時間前後は、歩行者や自動車の交通量が増える時間帯で、交通事故も増える傾向にあります。

買い物や散歩などで外出する際は、明るい服や反射材を身に着けるようにしましょう。反射材は、ドライバーに歩行者の存在を早いタイミングで知らせることができますので、事故に遭いにくくなります。

車からの見え方 (時速60キロメートルでヘッドライトを下向きにして走行している場合)

服装	反射材着用	明るい服	暗い服
距離	57m	38m	26m